

患部

所まで届かないため候補から脱落して、そこを教授は、実験用の細胞を遺伝子操作し、ヒトの小腸や腎臓、脳など同じ条件で薬の届き具合が測定できる仕組みを整え、薬をいち早く選抜できるようにした。細胞の表面には、トラン

出来上がった、加賀蒔絵の鏡板を施した鏡板。左奥が濱上さん＝白山市美川北町

台車飾りに加賀蒔絵

鏡板11枚に「鳥尽くし」

おかえり祭り 豪華に

白山市美川南町、藤堂神社の春秋例大祭で県指定無形民俗文化財のおかえり祭りの台車に、加賀蒔絵の技が施され、五月十一、二十日の祭りで披露される。三十年ぶりに台車を修復した今年のお祭り前である美川永代町の「より豪華細緻」との願いが、藩政期以来の伝統十芸である美川仏壇と加賀蒔絵の融合となって実を結んだ。加賀蒔絵の技が施されたのは、美川永代町が所有する舞臺太鼓台車に飾られる鏡板。三十三枚四方の鏡板九枚と、縦三十八枚、横六十二枚の鏡板一枚に「鳥尽くし」として、キジと桜や、シジユウラとカワ、カラウリにシマカシなど、異種の鳥や植物の組み合わせが細緻な筆致で描かれた。

美川仏壇の技法と融合

美川永代町

で月、県伝統工芸士に認定された濱上清造さん。白山市美川和波町に伝わる。濱上さんは若いころ、金で加賀蒔絵の技法を習得しており、今回の仕事に、金で表現する金粉に粗目の平目粉をふんだんに用いた。模様に合わせた粉が多いため、鏡板はより豪華絢爛な強調され、十枚完成した。修復された舞臺太鼓台車は二十八日に美川永代町に納品され、三十日は町内でお披露目



一豊の妻の生地PR 岐阜県市観光連日、北國新聞社を訪れ、吉村安房食と千代姫ちゃんベネスタップで知られる山内一豊の妻の板東利香さん、郡上八千代さんとの幅巾美江さんら十八、白鳥を飾り紹介した。千代はドラマでは近江から上り日守まで徹夜おどりが繰り返される。郡上八千代は、市には千代が初代郡上八幡城主、遠藤盛数に娘であるとの系図がある。法化したと、すん間社、所に残されて

ギフチョウ
かれんに
県昆虫館が展示

